



第57号  
5月の第3土曜 次回は  
2025年5月17日  
しらすぎ会総会は

# 「瑞宝章中綬章」 拝受に際して

高知県立大学初代学長  
高知県立大学名誉教授  
看護学部11回生

南 裕子



本年5月13日に「瑞宝章中綬章」を拝受し、まことに晴れがましく、榮譽あることでした。まず、ホテルの一室で内閣総理大臣のお名前による賞状をいただきました。受賞の基準は、瑞宝章は、「国家又ハ公共ニ対シ積年ノ功労アル者」に授与すると定められ（勲章制定ノ件3条1項）、具体的には「国及び地方公共団体の公務」または「公共的な

業務」に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた者を表彰する場合に授与されるといふことらしく、賞状には「教育功労」と明示されています。その後、バスに乗って雨のなか皇居に移動し、天皇陛下の拝調を得て、勲章が授与されたことになりました。受賞できたのは、ひとえにお仕事を一緒にさせていただいた先輩、同僚、後輩の皆様および未熟な教師であった私の指導を受けてくださった学生・院生たちのおかげによるものであり、健康で長く勤務することができたのは亡き母や家族と親しい友人たちの恩恵によるものだと思います。四方八方に感謝したい気持ちでした。

元大学教員が授与される場合は、聞くところによると文部科学省の「国公立大学で30年以上の勤務歴があり、功績がそれなりにあつて75歳以上の者」の基準があるようでした。



森 利美

しらすぎ会 第25代会長

## しらすぎの「輪」は続く

私立大学での年数はカウントされていないのが不思議でした。

高知女子大学および高知県立大学の先輩の名誉教授の方々が受章されたときにいろいろ伺っていたお気持ちを思い出しました。改めてしらすぎ会の皆様に感謝しつつご報告いたします。

ルスも第五類になり、通常の生活が戻りつつあります。しらすぎ会総会も多くの代議員の皆様のご参加のもと、本年度の方向性の確認や活発な意見交流を行うことができました。今回出された大きな課題は、各支部の活動への参加人数の減少でした。役員の方の懸命なご努力にも関わらず会員が集まらないため断腸の思いで休部とされた支部もございました。東海支部の皆様方の長きにわたるご努力に心より敬意と感謝を申し上げますとともに、復活の日を切に願います。

昨年、支部活動の活性化を目的として予算化した支部活動支援金は多くの支部で活用いただいております。今年も予算化していますので、会員の皆様の親睦交流や支部活動の経費の補助等にお役立て下さい。

支部の会に参加させていただいて思うのは、支部の皆様方が、活動内容を工夫したり、独自のお便りを発行したりして、同窓会を盛り立て、繋げていくとされていることです。この熱意とパワーがある限り、課題は多くても、しらすぎの「輪」は続いていくと思っております。

この会報をご覧になつていらっしゃる皆様、居住地の支部から案内が届きましたら、是非ともご参加下さい。年代は違えど同じ学び舎で学んだ者同士、楽しい時間が過ごせることと思います。

今朝、近くの水田沿いを散歩中に、足音に驚いて飛び立つ2羽のしらすぎの美しさにしばらく見とれました。73年前、大学の校舎から見える大高坂山に飛来するしらすぎを同窓会の名前の由来にしたと聞いています。同窓会を誕生させた大先輩方の熱量には足下にも及びませんが、その熱を消さず、しらすぎの「輪」が続くよう、会員の皆様や理事の方々の力をお借りしながら力を尽くしていきたいと思っております。よろしくお祈りします。



附属図書館主催特別講演会のお知らせ

# 「論理・気概・熱情・父・山崎良幸の 知の世界 万葉と源氏」



山崎良成氏と父・良幸先生

2025年(令和7年)5月17日(土)に予定されているしらさぎ会総会にあわせて、山崎良成氏(ミシガン州立大学)による「論理・気概・熱情・父・山崎良幸の知の世界 万葉と源氏」と題した講演会を、図書館主催で実施します。山崎良成氏は、故・山崎良幸高知女子大学名誉教授のご令息でいらつしやいます。

高知県立女子専門学校の時代から教鞭をとられていた山崎良幸先生は、文化学部の前身である高知女子大学文学部の設立にあたって中心的な役割を担われ、今日まで続く本学の日本語学・日本文学に関する教育

と研究の礎を築かれました。ご専門は国語学ですが、その射程は広く、日本語の文法研究から『万葉集』や『源氏物語』研究にいたるまで、多くの優れた研究を残されています。先生はまた、教育にも力を注がれ、多くの優れた学生を育てられました。厳しくも温かであったそのお人柄は、受講生が記した多くの手記によつて、今に伝えられています。

そんな山崎良幸先生の貴重な蔵書の一部を、このたび本学附属図書館に寄贈いただけることになりました。この機会に、山崎良幸先生の人と学問について、良成氏からお話しただけでないかとお願いしたところ、ご快諾をいただきました。物理学者でいらつしやる良成氏の目には、言語学者・文学者であったお父様の姿は、どのように映っていたのでしょうか。様々な興味深いお話をお聞かせいただけるのではないかと思っております。詳細はまた改めて、ウェブサイトやチラシ等でお知らせいたします。多くのしらさぎ会会員の皆様のご参加をお待ちしております。

高知県立大学附属図書館長 高西成介

## 高知県立大学 & しらさぎ会 懇話会の報告

コロナ禍のため実施が途切れていましたが、令和5年度及び6年度に大学との懇話会を実施しましたので、その概要をお知らせします。

### 【令和5年度】

- 日 時：令和5年10月12日(木)
- 場 所：高知県立大学池キャンパス
- 参加者：大学(学長、副学長2名、事務局長)  
しらさぎ会(会長、副会長2名、広報担当2名、事務局員)
- 会議内容趣旨
  - ・しらさぎ会活動の現状報告(森会長)
  - ・『高知県立大学10年戦略』の資料に基づいて大学の現状と今後の方針・展望についての説明(甲田学長)

### ◆意見交換

しらさぎ会から卒業生の名簿作成にあたって大学に協力の依頼をした。大学側から様々な分野で活躍している卒業生を学生へのロールモデルとして紹介したいが情報はないかとの相談があった。また、給付金制度など、学生活動支援についてのお礼があり、しらさぎ会としてもできる限り学生支援については対応する旨を伝えた。大学が健康・医療・福祉・教育に携わる人材育成とともに、地域共生社会を支援する地域に開かれた大学として取り組まれていることが分かり、有意義な会となった。

### 【令和6年度】

- 日 時：令和6年7月22日(月)
- 場 所：高知県立大学池キャンパス
- 参加者：大学(副学長2名、事務局長)  
しらさぎ会(会長、副会長2名、広報担当2名、事務局員)
- 会議内容趣旨
  - ・しらさぎ会活動の現状報告(森会長)
  - ・大学の現状報告・教育内容及び実施体制等についての説明(五百蔵副学長)

### ◆意見交換

しらさぎ会から名簿作成についての協力のお礼と会員の活動への参加数減の課題について話をした。大学側から域学共生の理念に基づく大学の取組、具体的には社会的処方研究会の実施や認知症カフェの活動等についての話をもとに意見交流を行った。また、来年度予定している附属図書館特別講演会をしらさぎ会総会後に実施し、多くの参加を呼びかける等の協力をすることも確認した。短時間ではあるが、懇話会を通して、双方の取り組みや活動の情報を共有することでより強固な連携を大事にしていきたい。

# よひついで先輩後輩の皆さん

能勢童子さん (国文学科10回生 昭和44年3月卒業) 高知県在住

## しらすぎ会の未来について

文学部国文学科を、昭和四十年入学、四十四年卒業し、七十七歳で今、外資系の保険会社に、営業員として働いています。

なつたので男性の参加が大きいかかわつて来ると思っています。長い歴史を持つしらすぎ会を存続する為に、力をもらいたいと考えています。

大学卒業後すぐには、高知新聞社事業部で、結婚するまでお世話になり、県展、金婚式、よさこい祭など、高知新聞主催後援、共催など、色々の事業に参加させて頂き働いていました。昨年よりしらすぎ会の役員会に参加させて頂いて二年目に入りました。

私自身、七十七歳で二十三年目の会社になります。背中のリュックの中にパソコンを入れ、大きな書類入りのバックをさげ、自転車や公共交通機関を利用し、営業や保全の仕事をしています。何らかの形で社会に貢献し、かかわつてゆく事が大切だと考えています。

参加した頃は、役員会の流れを理解出来ずついていくだけでした。

まだまだ、これからも、しらすぎ会の明るい未来に向けて、私達卒業生達が、がんばって行きたいと思つています。

今年、二年目の参加により、徐々に役員会の役員、仕事内容や、この会を続けていく意味が理解出来るようになりました。更に役員さん達の大変な苦労なども理解出来るようになりました。ただこれから更に、この会を存続してゆく為には、若い人達の方が必要だと思います。更に男女共学の大学に



町口美千代さん (生活理学科14回生 昭和56年3月卒業) 徳島県在住

## 著書「子どもの生きる力を育む 小学校家庭科の授業例」を発売して



主に小学校教員として三十四年間勤めて、五年前に退職いたしました。退職後は、弘済会の参事職や家庭教育相談員をさせて頂いたが、現在も相談員と塾(週二回)に勤務しております。とくに昨年は、十一年間勤務した鳴門教育大学附属小学校での家庭科の研究についての著書を自費出版することができました。毎年、授業研究会や全国小学校研究会を開催し、課題解決学習を面白くする実験を入れたり、ゲストティーチャーを招いたり

と、様々な授業を展開しました。偶然立ち寄った本屋さんで、営業で来店していた出版社の方とお話する機会に恵まれ、後日題材ごとにとまとめた資料をお見せすると、「これは本になりますよ。ぜひ、皆さんに読んでもらいましょう。」とのお声掛けをいただき、おかげさまで無事全国出版できました。また、徳島県の全小学校に献本させて頂きました。全国の書店、アマゾンやセブンネット等でもご購入いただけますので、私の名で検索していただけましたら嬉しいです。



▲紀伊國屋書店 (徳島店) にて

### 令和6年度 しらすぎ会の運営体制

名誉会長	甲田茂樹 (学長)	田之頭恵里、西村萌花、本間ともみ
顧問	五百蔵高浩 (副学長)、池田光徳 (副学長)	宮上多加子、村上和子
【理事会】		監事 小松和加子、吉田久恵
会長	森利美	【会報編集委員会】
副会長	佐田久美子、濱田久美子	広報担当理事 楠瀬美加、本間ともみ
理事	稲垣佳代、門田直子、楠瀬美加	会報編集小委員会 仁尾郁、森和美、前田来仁子
	隅田有公子、千光士教子、竹崎優子	

森 千涼さん (英文学科15回生 昭和49年3月卒業) 大阪府在住

## POWER OF SONGS

♪南の海に黒潮かおり 土佐の山脈そびえて不壊ぞ…大学の「学歌」を覚えていらっしやいますか？

私は在学中「合唱部」に所属していました。

毎年4月に、新入生歓迎行事の一環として、合唱部が学歌指導をする…という役目がありました。

そんなご縁もあり、学歌は身近な存在で、今でも日常生活の中で口ずさんだりしています。

歌好きの仲間と「旧南舎」の古い教室を使った部屋で集まりお喋りに興じた若い日々を懐かしく思い出します。

コロナ前は有志で集まり毎年小旅行を楽しみました。京都、東京、高知、名古屋、横浜、鎌倉…と思い出がいっぱいです。

子供達が小さい頃は学校のPTAコーラスに参加し、現在は一般の女声合唱団で、来年の創立45周年記念コンサートに向けて練習をしています。

大学を卒業してちょうど半世紀：コーラスと縁の切れない人生ですが、得るものは多々ありました。



▲写真 (令4・11・3 京阪神支部懇親会) は2列目右から2番目

コーラスは一人では成立しません。仲間と美しいハーモニーを目指して練習を積み、うまく出来た時の達成感は次のステップに繋がる喜びとなります。

長く続けているわりに上手にならないのが悲しいところですが、「深い呼吸」と「お腹から声を出すこと」が体に良いと信じて頑張っています。

こうして元気で過ごせているのも、楽しく好きなことをずっと続けているおかげかな…と感謝しています。

岡谷恵子さん (衛生看護学科19回生 昭和48年3月卒業) 東京都在住

## 関東支部の活動について



2019年に始まったコロナ禍の影響で、関東支部の活動が停滞していることをまずは支部長としてお詫びします。現在、

新しい大学の設立が続いている

現在の状況は、特に地方の大学の存立を脅かすのではないかと思います。このような中で、同窓会として母校とのつながりを強化し、母校の強みや魅力を発信できる活動ができないかと考えています。今年度は支部総会を開催します。総会に多くの会員の皆様に参加してくださることを願っております。

令和6年度 各支部会員数 (6年3月卒業生を含みます) (人)	
関東支部 (東京、神奈川、埼玉、千葉、茨木、栃木、群馬、山梨)	481 (うち新7)
東海支部 (愛知、岐阜、長野、三重、静岡、新潟)	355 (うち新15)
京阪神支部 (大阪、京都、奈良、和歌山、兵庫、滋賀)	1,080 (うち新47)
岡山支部	340 (うち新12)
広島支部	266 (うち新5)
山口支部	70 (うち新1)
香川支部	496 (うち新14)
愛媛支部	675 (うち新24)
徳島支部	644 (うち新20)
高知県支部	4,038 (うち新153)
九州支部 (福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)	583 (うち新25)
以上、11支部35都府県に居住の卒業生	9,028
支部の無い県に居住(支部に属さない)卒業生	446
国外在住者	58
物故者	359
大学院生の内、学部卒業生	165
居住地不明者、その他	4,420
<b>令和6年4月末現在の卒業生の総数は14,476人</b>	



# しらさぎ会 ● 各支部だより

## 高知県支部

## これから、これから



6月15日(土)10時から14時まで、池キャンパスで「母校見学ツアー ～池キャンパス編～」(10時～11時20分)、「総会」(11時30分～12時20分)、「懇親会」(12時30分～14時)と続けて開催しました。

高知はご存じのように東西に長い県で、加えて交通の便が悪く、会員はなかなか集まりにくい状況です。本年度は少しでも多くの方の参加を願い、東部・中央・西部の三地区に初めて送迎車を手配し、のべ110名の参加がありました。

「母校見学ツアー ～池キャンパス編～」では、大学の職員による説明を聞きながら見て回りました。200名収容できる大講義室や調理実習室など建て替え前の永国寺キャンパスとは比べ物にならない広さと立派な施設に驚きながら、今の学生さんたちが豊かに学べる環境にあることを羨ましく思いました。

引き続き「総会」では、来賓の本部森会長によるご挨拶の後、令和5年度の活動報告・決算報告・監査報告、令和6年度の活動計画案・予算案・会則改正案の報告事項・審議事項すべて承認されました。最後に、支部長から今後の支部活動の在り方についてみんなで検討していきたい旨の話がありました。

お昼からの「懇親会」は、会場を食堂に移し、大学生協の協力を得てパーティー形式で行いました。各テブ

ルでは、食べたり、飲んだりしながら笑い声が飛び交う中、近況を報告し合ったり、これからの同窓会を計画したりするなど、あたたかい交流ができました。これらの取り組みを通して、今後の県支部活動へのヒントになることがたくさんありました。

(支部長 ● 元吉正子 / 国文学科 10 回生)



〈母校見学ツアー～池キャンパス編〉



〈令和6年度高知県支部総会〉



〈懇親会〉

## 広島支部

## 「広島支部ニュース」を作りました

2年に1回開催することになっている「広島支部会」。しかし、支部会が開催されない年に新しく広島県に来られた方たちにも広島支部の存在や活動の様子を伝えたい一長年、その思いを抱いていました。そして嬉しいことに昨年度、しらさぎ会事業の一つとして「支部活動費支援金」の実施が決まりました。この支援金をありがたく利用させていただいて作成したのが「広島支部ニュース」です。A4用紙2枚(両面印刷)のみの簡単なものですが、これまでの活動内容を中心にまとめ、会員の皆さんに発送しました。「広島支部」を身近に感じていただけたものと思っています。

「広島支部ニュース」作成にあたっては、「はちきん便り」を発行された京阪神支部の方々(特に寺西美樹様)にはたいへんお世話になりました。ありがとうございました。

さて、今年は広島支部会開催の年です。どこで、どのような内容で行うかは、只今(6月中旬)考え中です。決まりましたら、すぐに案内状をお送りします。でもひょっとすると、この会報が皆さまのお宅に届けられた

ときには既に広島支部会が開催された後かもしれません。が、その会が“いつもより多くの方の参加をいただけた”という結果になることを望んでいます。また、今後の支部会活動についてのアイデアなどがございましたら、ぜひお知らせください。一緒に広島支部を盛り上げていきましょう。

(支部長 ● 田中めぐみ / 国文学科 9 回生)



## 徳島支部

## 徳島支部

## 総会 報告

去る令和5年8月20日(日)に、ザ・グランドパレス徳島にて、総会を開催し、26名のご参加をいただきました。コロナ禍で平成30年8月を最後に中止となってから、5年ぶりの開催となりました。

事前の役員会で「久しぶりの総会なので、ゆっくりと交流を深めたいね」ということになり、行事を設けず、自由に交流できる時間としました。いつも参加して下さっているだけでなく、初めて参加された方もいっしょり、和気あいあいとした雰囲気なかで、あっという間に時間が過ぎました。

今回は、徳島県出身の在校生の方も1名参加していただき、大変嬉しく思いました。また、町口美千代さん(生活理学科S56年卒)が昨年出版された著書「子どもの生きる力を育む小学校の家庭科の授業例」について、執筆に至った経緯や想いなどをお話していただき、その熱意にとても感銘を受けました。

この総会をもちまして、長年、ご尽力いただいた多田

会長さんがご退任されました。お忙しいなか、大変お世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。今後は新たな役員体制で、活動してまいりますので、ご協力をお願いいたします。次回の総会については、来年夏頃に開催する予定ですので、ぜひ、多くの皆さんにご参加いただければ嬉しく思います。

(支部長●松村美智子/看護学科30回生)



## 関東支部

## 同窓会活動で思うこと

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが収束してきたと思ったら、今年は元旦に能登半島地震が起こり多くの人が犠牲になりました。被災状況の報道を見る度に心が痛み、同時に他人事ではないという気持ちになります。災害関連死の認定者も熊本地震の時を超えたという報道もありました。自然災害が起こるたびに、災害への備えの重要性が再認識されますが、私は、人々が何らかの災害に被災したときに人と人の繋がりがどれだけあるかということが重要だと思っています。人と人の繋がり、安心できるコミュニティの構築は災害の重要な備えの一つではないでしょうか。「同窓会」は同じ大学で学んだと

いう縁で繋がるコミュニティです。年に1回でも集まって、思い出に浸ったり、近況を報告しあったり、安否の確認をしたりすることで、人と人の繋がりをそれぞれが意識できる場であることに大きな意義があるように思います。

もう一つ、高知県立大学の前身は女子大で同窓生のほとんどは女性です。6月に発表されたジェンダー・ギャップ指数の日本の順位は146カ国中118位でした。同窓会として女性の社会進出を応援できるような活動も夢の一つです。

(支部長●岡谷恵子/衛生看護学科19回生)

## 岡山支部

## 令和6年、3年ぶりの高知訪問

しらさぎ会会員の皆様、そして岡山支部会員の皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

去る5月18日、岡山支部代議員として3年ぶりにしらさぎ会総会参加の為、高知を訪問致しました。

長らく会っていなかった学生時代の友人と再会の約束を交わし、前日から高知入りしました。友人の案内で今回初めて高知城歴史博物館を訪れ、今さらながら土佐の歴史や土佐出身の著名人の詳細にふれることが出来た次第です。宿泊したホテルから近かったこともあり、早朝の高知城へも足を運びました。当時参加していたサークルのトレーニングでたびたび利用していた二の丸の広場では、若き日の思い出にも浸る事が出来ました。

山内一豊の妻の像をながめながら階段を登っていると、

ちょうどせんだんの大木が薄紫の小花を咲かせはじめている頃で、そういえば大学の寮にはこの木の別名である“おうち”が使われていたことを思い出しました。

天守閣や城内の景色は、私が学生の頃と少しも変わらぬ姿でたたずんでいましたが、お城周辺の変わりようには目を見張るものがありました。コロナ禍前後だけでも随分の変わりようです。お堀周辺には公園が整備され、日曜市で歩き疲れた時などちょっと休憩するにはもってこいの環境となったのではないのでしょうか。

長らく高知を訪れていないわという卒業生の方々には是非久しぶりの高知をお薦めしたいと思います。

(支部長●平岩博子/国文学科21回生)

## 香川支部

# 広げよう同窓生の輪を！ 温めよう絆を！

令和5年は香川支部定期総会の開催の年。高松国際ホテルで11月25日(土)に開催いたしました。

今回は会員の皆様のアンケート内容の要望に答えてご来賓として本部より副学長五百蔵高浩氏、会長森利美氏をお迎えしました。そして、副学長五百蔵先生より「高知県立大学の現状」をテーマにご講話をいただきました。教育・研究・社会連携を3本柱として地域志向の教育に取り組み、地域活性化に貢献されていることが分かりました。

総会後の懇親会では会食をしながら参加者17名が自己紹介をし、近況を伝え合いました。17名の中には、初対面の方もいらっしゃいましたがすぐに打ち解けて会話を弾ませました。なかでも、高齢の大先輩の明るくたくましい生きざまを伺ったり、大学院への進学を胸に志を新たにしたりとかお聞きし、身のひきしまる思いがしました。他にも趣味や農業等に生きがいの糧として取り組んでいらっしゃるとか、皆様の内なるお思いをお聞きする中、互いに親近感が増し、同じ大学の同窓生としてのつながりを感じたものでした。

でした。

今後も香川支部では会員の皆様にアンケートを実施して、どのような香川支部総会を描かれているかを確認し、今後の総会の在り方を検討していきます。次回総会は令和7年です。是非、ご参加ください。

(副支部長●赤松輝美/家政学科19回生)



## 九州支部

# 第16回九州支部会を開催して —なじみの人が増え和気あいあい—

皆さんコロナは大丈夫でしたか。

令和5年11月19日(日)に熊本市のKKRホテルで開催、熊本は2回目です。その間、熊本地震や豪雨災害もありました。熊本城は壊れ、その復興状況も見ただければと城の前のホテルに。熊本の会員は33人ですが呼びかけるのも難しく20年前と同じメンバーの大庭さん(国文)東さん(看)と私で準備。

参加者は17人で新人3人。なじみの方が14人(うち90才が2人)で楽しく懇談しました。

本部理事の宮上多加子先生より大学の様子や教養講座『長寿時代における「ケア」と経験学習』のお話で教養も

アップ。

また本部より5万円の補助がありましたので熊本以外の11人に交通費として一部をお渡しでき喜ばれました。

- (1) 各県の連絡員が決定  
福岡(横田)、長崎(大石)、佐賀(原野)、沖縄(粟国)、熊本(宮川)、他は欠席で未定
- (2) 次の開催地 2年後に福岡
- (3) 支部長交替の提案 平成13年に福岡の小林さんより宮川へ引き継ぎ。福岡で交替を。

(支部長●宮川麗子/衛生看護学科14回生)

## 山口支部

# 「支部総会を振り返って」

山口県にお住まいのみなさま、お元気ですか。

第1回の支部総会開催は、平成21年11月のことでした。参加は12名。県内にこんなに同窓の方がいらっしゃったのだと驚いたことを覚えています。まだ卒業したての方もいらして、なぜ同窓会に行ってみようと思ったのかという先輩方の質問に、「親の勧めがあったので」と答えておられました。ちなみに私は、どんな雰囲気のところかなと興味を持ったので参加しました。時は違えど同じ学校に通った人たちに会えるというのは非日常で、おもしろいものだなあと思いました。

いつの回だったか、昭和の話に花が咲き、山口と高知を行き来するときの山越えの話がありました。瀬戸大橋が開通する前の話です。また、しらすぎ会の顧問の先生

や役員の方がお見えになって、現在の学校や学生のみなさんの生活の様子を話してくださったときには、学校の進化や学生のみなさんの躍動を感じたものでした。そんな支部総会を2年おきに開催してきましたが、令和元年5月の第6回を最後に、コロナ禍で中止となりました。今年度は久々に開催予定です。

おわりに、お願いです。同窓会の案内が届いた折には、返信ハガキを投函していただくと助かります。遅くなくてもかまいません。返ってくるだけでうれしいです。便りが無事に届いたことがわかると安心します。お手数かけますが、よろしく願いいたします。みなさま、お元気で。

(支部長●道中亜紀/国文学科35回生)

## 京阪神支部 「京阪神支部支部総会・同窓会を開催します」

みなさま、お変わりなくお過ごしでしょうか。

前回の 2022 年 11 月京阪神支部の総会・同窓会案内に同封された「はちきん便り」が大好評で、他の支部でも同様の取り組みをいただき、しらすぎ会の繋がりを感じています。

新しい試みをされた前役員の皆様を見習って今年度も熱い思いを込めて「はちきん便り」を制作しましたが、ご覧いただけたでしょうか。

今年度の京阪神支部同窓会では、前高知県立大学学長の野嶋佐由美先生をお招きしお話いただきます。私は野嶋先生に 5 月 18 日 (土) に開催されたしらすぎ会総会後、初めてお会いしたのですが、いろんな新しい気づきを先生からいただき、話が尽きない楽しいひとときを共有させていただきました。みなさまにも同じ気持ちを感じていただけるのではないかと考えています。

当日は懐かしい高知の風景を見ながら学生時代を思い出していただけるような企画も予定しています。

前はコロナ禍も落ち着いてきたとはいえ、まだ少し参加に迷いがあつたかたもおられたと思いますが、今回はぜひ奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

これからも毎回同窓会に参加したいと思っていただけるような会にしたいと思っています。

### 支部総会・同窓会

日時：2024 年 11 月 17 日 (日) 12:00 ~ 15:00

受付開始 11:30

場所：ホテルグランヴィア大阪 20F

(JR 大阪駅直結 大阪市北区梅田 3 丁目 1 番 1 号

06-6345-2581)

(支部長 ● 寺西美樹 / 家政学科 23 回生)

## 愛媛支部 タオル美術館 ナガノ展~ちいかわ~

愛媛支部は 6 月 23 日に今治タオル美術館で「第 56 回しらすぎ会愛媛の集い」を行いました。レストラン王府井で支部長の交代と、高知からはるばるお越し下さった森利美会長のお話を聞いた後、乾杯をしました。

今回のお食事は中華料理ですので、まん中にどんと置かれた料理を、内側のテーブルを回しながら皆で順番に取り分けていき、会話が弾みました。

食事の後はタオル美術館 5 階ギャラリーに移動しました。最初に、タオルの織機からタオルが製造されていく工場見学コースを歩き常設展のキルト作品を鑑賞しました。とても大きな作品を気の遠くなる小さな針目で仕上げているのに驚き、さらにキルトとタオルのコラボも見ました。タオルは機能性だけでなく芸術としても美しい表現が出来るとわかりました。常設展にはムーミンがありますが、今回の企画展は、ナガノ展~ちいかわ、ナガノのくま、ナガノ作品の原画が大集合!~です。ちいかわはとてもブームで都会では行列ができるのに、この地

方で開催されることはとても嬉しいことでした。お土産売り場は活気に満ちていて、楽しい一日を過ごしました。

若い方、働き盛りの方など幅広い会員様の参加をお待ちしています。

(支部長 ● 増田昭子 / 家政学科 17 回生)

(幹事 ● 土岐佳子 / 生活理学科 22 回生)



## 東海支部 同窓会活動の休止のお知らせ

日本は資源に乏しくても本当に豊かな国で、人情に厚く、住みやすいところです。しかし、最近の天候不順は、日本がとうとう亜熱帯地帯に変わりつつあることを示しているかのようです。

### 東海も変わります。

同窓会活動を休止します。私事ですが、長く幹事をしていました、病気のため、支部代表を続けられなくなりました。そのため、昨年度の東海支部同窓会開催にあたり、代表を引き受けてくださる方を探しました。全員に手紙を送りましたが、残念なことに引き受けてくださる方はいませんでした。東海支部同窓会で話し合い、休

止も仕方がないとの結論に至りました。

今年 5 月の高知での総会で、その旨を報告しました。東海支部はその活動を休止します。

今後の同窓会などの情報は、会報「しらすぎ」で得ていただくようお願いいたします。

人間関係の構築をするとき、仲間などの横のつながりは作りやすいですが、年齢を超えた縦の関係を作るのはなかなか難しいです。同窓会は縦と横のつながりの組織です。大事にしていきたいと今更ながら思っています。

東海支部は今後は個々の会員で活動をしていきます。

(支部長 ● 山本真理子 / 国文学科 16 回生)



# 令和6年度 総会報告

日時：令和6年5月18日(土)  
場所：高知県立大学

永国寺キャンパス

教育研究棟 一階

参加：代議員26名(ウェブ参加5名)・委任状3名・理事14名・監事2名

○学歌斉唱○甲田名誉会長挨拶

○会長挨拶○来賓紹介

○議長選出後、議事に沿って進行

## 令和5年度事業報告

### (1)会議について

①総会

令和5年5月20日(土)

県立大学永国寺キャンパス

代議員27名中ウェブでの参加は10名であった。

②理事会は計6回開催

### (2)支部活動

●11支部中7支部が支部総会を



開催。その他4支部は隔年開催や予定なし

●令和5年度は11支部35都府県8,876名の会員。支部のない道県は12

●令和6年3月31日現在会員14,476名

### (3)広報活動

①会報「しらすぎ第56号」発行

②「高知県立大学同窓会しらすぎ会ホームページ」の更新

### (4)支部活動支援金

申請のあった5支部に各5万円、計25万円を支給

### (5)学生支援

①国際交流支援20万円を予算計上していたが、希望者なく未執行

●手話の会映画上映活動支援として10万円を支援

②奨学金貸与(50万円×1名)を予算計上していたが希望者なく未執行

③令和5年度特例学生活動支援金給付 10万円×6名に給付

④卒業式・修了式・お祝いメッセーじと名刺入れを贈呈(卒業生・修了生350名)

⑤入学式・祝電及びお祝いメッセーじと校章を贈呈(入学生377名)

⑥大学との懇談

日時：令和5年10月12日(木)

場所：高知県立大学池キャンパス

出席：(大学4名)

(しらすぎ会6名)

●しらすぎ会の活動の現状報告

●高知県立大の現状報告と今後の展望

●意見交換

※事業報告、事業計画、決算・予算満場一致で承認された。

## 総会の審議及び懇談・交流から

○支部活動支援金の支給があり大変助かった。よい取り組みだと思っ。

○支部支援金の決算について総会をやつてない支部もあるがすべての支部を補助しての金額か。使途は総会のみで使用しないといけな

いか。

↓総会補助はこれまで総会を行っていない支部は未支給。予算の130万円は全ての支部が総会を開くものとして予算化。総会補助の項目にある(等)は総会を開くための費用としていたが、案内の往復はがき費用としては使いづら

いという声あり、来年度から総会に見合うような活動であればOKとしようと思直し中。

○学生支援で手話の会、映画上映に10万円支援しているが、決算書のどこに記載があるか。

↓昨年の総会後に支援依頼がきたため予算化していなかった。そのため予備費から支出。

○高知県支部は、2回/年活動を

実施しているため、2回計画を出したが、1回は却下された。要綱には、「支援が必要と認められる活動に対して」とある。1支部1口ということではないのではないか。

↓1支部から複数回申請ありを想定していなかった。本日の意見をもとに検討したい。

○支部の通信費活動の補助について、今秋郵便料が上がる予定であり、値上げ料金を振り込んでもらえるのか。

↓本総会で承認された後、値上げした料金で振り込む。

○他大学の同窓会は、被災地へ見舞金など送っていると思うが、しらすぎ会基金を見舞金に充てられないか。熊本地震の折、しらすぎ会からの現状を尋ねるハガキも

らい、「しらすぎ会が身近に感じられた」と言っていた。基金がなにも触れられていないままであることが気になる。

↓能登地震の折も何かできないかという話もあったが、支部のない県だったため具体的にならないまま現在にいたっている。基金について年1回は協議することになった。

協議を行ったが具体案はなし。各支部からもご意見をいただきたい。

○被災地支援はいい話だが、金額や人数の問題等があり、難しいと思う。

○4月に愛媛・高知で地震があったが、高知県支部では何か対応したのか。

↓支部からは各地域の世話人

に状況を聞いたが、支援が必要とされる状況でなかった。

↓何かしないといけないの思いは皆あるが、支部のない地域もあり、今すぐこうするといふ話にならないため、本部案件ということにしたいと議長より意見が述べられた。

○本部からのタックシールの件や支部名簿について意見があった。

↓支部総会がある時には原則として名簿とタックシールを本部より送っていると回答。

○支部活動支援金 1支部で上限5万円は変わらないか。11支部全て申請したら55万円となるが、予算は40万円だが。

↓支部総会開催は7支部なので余裕を持たせて40万円とした。

○支部活動支援という名目だが、総会をしないともらえないのか。会員同士の親睦を深めるための活動に支援してもらえないか。

↓予算は総会開催を根拠に算出している。総会をしていなくても支部だよりを発行している支部もあり、活動費として支援した。考

令和5年度決算報告(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

○一般会計・収入の部 (円)

項目	令和5年度予算	令和5年度決算	増減	備考
繰越金	5,079,162	5,079,162	0	令和4年度繰越金
会費	5,579,120	5,398,460	△180,660	15,000円×360名-手数料 学部生343名、院生17名
利息	—	59	59	奨学金返済金口座も含む
奨学金返済金	560,000	705,000	145,000	返還者9名(うち1名はR5年5月完済)
寄付金	0	0	0	
その他	0	100	100	ゆうちょ返金
合計	11,218,282	11,182,781	△35,501	

○一般会計・支出の部 (円)

項目	令和5年度予算	令和5年度決算	増減	備考
総会費	100,000	106,175	△6,175	会議開催に向けてのサポート等
交通費等	400,000	176,356	223,644	代議員交通費等
総会補助	1,300,000	1,072,726	227,274	総会開催補助金等
支部活動支援	300,000	250,000	50,000	支援活動等支援
学生活動支援	200,000	0	200,000	国際交流支援等
特別学生活動支援	2,000,000	600,000	1,400,000	学生活動停滞を防ぐ支援等
奨学金	500,000	0	500,000	貸与者0名
入学祝	250,000	225,170	24,830	記念品 校章、徽章箱400個@508
卒業祝	600,000	416,500	183,500	記念品 名刺入れ350個@1,190
会報作成	500,000	376,200	123,800	会報第56号12,000部作製費等
会報発送	1,100,000	1,096,602	3,398	会報発送費等
会議費	35,000	12,774	22,226	施設使用料等
交通費等	200,000	254,915	△54,915	理事、幹事、推薦委員、編集小委員会委員交通費等
小計	7,485,000	4,587,418	2,897,582	
事務費	100,000	93,879	6,121	事務用品及び備品、封筒、ホームページ保守管理費等
賃金	750,000	684,000	66,000	事務局員1名
その他通信費	150,000	84,707	65,293	ホームページに関わる諸費用、電話、切手、振込手数料等
小計	1,000,000	862,586	137,414	
予備費	2,733,282	337,974	2,395,308	労働保険料、パソコン一式等
合計	11,218,282	5,787,978	5,430,304	

次期繰越金 11,182,781 - 5,787,978 = 5,394,803

○しらさぎ会基金 (円)

項目	基金総額	令和5年度決算	増減	備考
基金	36,159,973	36,159,973	0	
利息	—	12,638	12,638	定期預金利息等
合計	36,159,973	36,172,611	12,638	

監査報告  
領収書、出納簿、預金通帳等監査した結果、財務が適正に処理され、誤りなどの問題がないことを認めます。

令和6年4月21日  
会計監査  
小松和加子  
吉田久恵

令和6年度予算(令和6年4月1日~令和7年3月31日)

○一般会計・収入の部 (円)

項目	予算	備考
繰越金	5,394,803	令和5年度繰越金
会費	5,654,230	(15,000円×377名-振込手数料) R6年度入学人数 学部351名、院生26名
利息	—	奨学金返済金口座も含む
奨学金返済金	480,000	返還者8名
寄付金	0	
その他	0	
合計	11,529,033	

○一般会計・支出の部 (円)

項目	予算	備考
総会費	150,000	会議開催に向けてのサポート等
交通費等	400,000	代議員交通費等
総会補助等	1,300,000	総会開催補助金等
支部活動支援	400,000	支部の活動支援補助等
学生活動支援	500,000	国際交流支援・学生の自主的活動等への支援
特別学生活動支援	1,000,000	100,000円×10名
奨学金	500,000	500,000×1名
入学祝	250,000	記念品 校章400個
卒業祝	600,000	記念品 名刺入れ400個
会報作成	500,000	会報57号11,500部作製費等
会報発送	1,300,000	会報発送費等
会議費	35,000	施設使用料等
交通費等	300,000	理事、監事、推薦委員、編集小委員会委員交通費等
小計	7,235,000	
事務費	200,000	事務用品及び備品、封筒、ホームページ保守管理費等
賃金	750,000	事務局員1名
その他通信費	150,000	ホームページに関わる諸費用、電話、切手、振込手数料等
小計	1,100,000	
予備費	3,194,033	27.7%
合計	11,529,033	

○しらさぎ会基金 (円)

項目	基金総額	備考
基金	36,172,611	
利息	—	
合計	36,172,611	

人事消息 (敬称略)

退職(令和5年度)

文化学部教授 大村 誠  
看護学部教授 中野 綾美

(令和6年度に看護学研究科で特任教授として採用)

同教授 渡邊 聡子

同准教授 佐東 美緒

同准教授 藤代 知美

同講師 川本 美香

同講師 小原 弘子

同特任助教 山本 真紀

社会福祉学部助教 片岡 妙子

(令和6年度に社会福祉学部で特任助教として採用)

社会福祉学部助教 福田 敏秀

健康栄養学部講師 廣内 智子

健康栄養学部助教 生川 卓弘

地域教育センター教授 清原 泰治

総合情報センター准教授 風間 裕

採用教員(令和6年・4・1)

文化学部講師 濱田 真理

看護学部准教授 田代 悠花

同准教授 飯田 悠花

同助教 加藤 昭尚

同助教 上村 明咲

同助教 前田 愛友

同助教 宮地 佐和子

同助教 依岡 美里

同特任助教 井上 加奈子

同特任助教 上岡 千夏

同助教 湯川 順子

同助教 乾 由美

健康栄養学部講師 村井 詩子

地域教育研究センター

総合情報研究センター

根本 大志

高徳 希

村井 詩子

乾 由美

湯川 順子

上岡 千夏

井上 加奈子

依岡 美里

宮地 佐和子

前田 愛友

上村 明咲

加藤 昭尚

飯田 悠花

田代 悠花

濱田 真理

風間 裕

生川 卓弘

清原 泰治

廣内 智子

福田 敏秀

片岡 妙子

山本 真紀

川本 美香

小原 弘子

藤代 知美

佐東 美緒

渡邊 聡子

中野 綾美

大村 誠

# 楽しく「新聞棒体操」

健康長寿研究センター (社会福祉学部 講師) 辻 真美

新聞棒体操は、要介護状態になる原因の第3位となる高齢者の「転倒」に着目し、転倒予防を目指した健康体操です。新聞棒は、身近にある新聞を2部使って簡単に作れます。

この体操はコロナ禍でうちに閉じこもりがちになってしまう高齢の方に、「いつでも」「だれとでも」「簡単に」継続して実施してもらうことを目的に、動画を作成し、YouTubeで配信を行いました。

昨年度からは、地域に出向いて行う健康長寿体験型セミナーの一つに取り入れ、高知市三里地区のいきいき百歳体操を行っている2会場で実施、現在は、地域のサロン活動に継続的に取り入れられています。また、大学では高知県内の地域での健康づくりやサロン会場の活性化を目指して、その普及に努めています。

新聞棒体操を体験された方々に体操の感想を伺うと「自宅でできる運動をすることや楽しく身体を動かすのは大切なこと」「みんなで災害時に‘逃げる足’を作しましょう！」といった前向きな声が聴かれ、毎回、参

加者のパワーに圧倒されています。また、三里地区地域包括支援センターの生活支援コーディネーターからは、参加者がご自身の地域で主体的に支え合いながら体操をしているというお話もありました。

ゼミ学生も意欲的に体操教室に同行してくれます。交流のなかで、暮らしの実際や、「家」や「地域」への思いを共有させてもらえるという貴重な時間を頂いています。このような高知県で得られた学びを、卒業後にそれぞれの地元での地域づくりに活かしていけると思います。今年度は、卒業論文テーマとして執筆中の学生もおります。

これからも、健康長寿研究センターの事務局や学生らとワン・チームで、新聞棒のように、暮らしの身近に自然と溶け込めるような活動を目指していきたいと思っています。



## しらさぎ会連絡先

- 事務局 (Fax・mail は常時)
  - ☎ Fax 088 (872) 0580
  - mail : sirasagi@cc.u-kochi.ac.jp
- <https://www.u-kochi.ac.jp/~sirasagi/>
- 事務局員勤務 木&金  
9時30分～16時00分
- 支部掲示板があります。ホームページをご覧ください。
- 住所変更等、お知らせください！  
住所不明者が多くなっています。  
※同窓会費は終身会費として入学時に納入されています。  
会報が届かないのは現住所不明等のためです。



住所変更の  
QRコード

## 令和6年度 事業計画 (総会承認)

1. 会議
  - 1) 総会 日時：令和6年5月18日(土) 13:00～15:00  
場所：高知県立大学 永国寺キャンパス 教育研究棟  
総会後 支部交流会
  - 2) 理事会 定例理事会  
隔月第1土曜日 10:30～
2. 事業活動
  - 1) 広報
    - ①会報「しらさぎ第57号」発行
    - ②「高知県立大学同窓会しらさぎ会」ホームページの更新
  - 2) 支部活動支援
    - 通信・活動費の補助 ○支部活動費支援金
    - 令和6年度各支部総会の開催
  - 3) 学生支援
    - ①奨学金50万円を1名に貸与
    - ②特例学生活動支援 10万円×10名
    - ③入学、卒業時のお祝いメッセージ・記念品贈呈
    - ④学生活動支援 (国際交流等に係る支援、学生の自主活動等への支援 他)
  - 4) 大学との交流会
  - 5) その他

# 永国寺から、これまでの認知症観を変えるアクション

社会福祉学部 教授 矢吹知之



歴史と文化の交流の場である永国寺キャンパス。その一角に月一回、認知症をゆるやかに学び、人と人が交わり繋がり会う認知症カフェ「土曜の永国寺カフェ」がオープンしています。認知症カフェは、オランダのアルツハイマーカフェをお手本にした取り組みです。認知症は加齢に伴い誰にでも訪れる病気であり、65歳以上では16%、日本人の平均年齢である85歳では40%の人が罹患するとともに身近な病気です。認知症は目に見えない病気です。そのため認知症になったら終わり、何もできなくなる、恥ずかしい病気などという偏見がありました。実際は、多くの場合緩やかに進行し、穏やかに暮らしている人もたくさんいます。その背景には周囲の理解や偏見のない自然な関わりがあります。認知症とともに暮らす社会を作るための役割が認知症カフェにはあるのです。

土曜の永国寺カフェは、誰でもが参加できます。心安らぐ音楽と薫り豊かなコーヒーがあります。体操やレクリエーションはありません。毎回、認知症や健康や街づくりをテーマにした専門家からのミニ講話があります。ご高齢の方から県立大学の学生、子どもまで様々な人々が集っています。また、地域の認知症や介護、医療の専門家もいますので気軽に相談することもできます。コーヒーを飲むだけでも結構です。ここに来ることで、学びが広がり、人とつながることができるのです。オランダでアルツハイマーカフェを学び日本にその意義を伝えた教員がコーディネートしたオランダスタイルの認知症カフェにぜひいらしてください。(毎月第1土曜日 13:30

～15:30 8月1日はお休み 予約不要)

## 【参加者の声】

- 地域の方「毎回参加しています。ここは、リラックスできる場所。環境もオープンで楽しく学んでいます。」
- 専門職の方「これが認知症カフェなんだと驚きました。サロンとは全く違う雰囲気と空間に気づきと驚きの連続です。」
- 学生「実習や授業では見ることができない地域の方々の姿を見ることができます。皆さん前向きに生きている姿をみて、困っている方を助けることだけが福祉ではないことを学んでいます。」

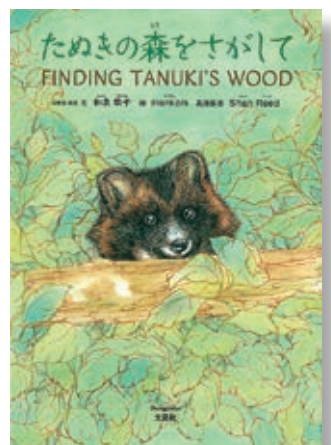


「狭間にて」  
原典ハル濱を想う  
リール出版 2022・10・30刊  
著者：下原瑞恵 (国文科10回)  
題字：下原瑞恵



## 本の紹介

「ためきの森をさがして」  
FINDING TANUKI'S WOOD  
文芸社 2023・12・15刊  
文：和泉敬子 (英文科6回)  
絵：manizm 英語監修：Shan Reed



## 編集後記

先日、編集会議があつて夕方に永国寺キャンパスに行った。「詩の翼」の方から小さな男の子が3人走ってきた。近くにおとなはいなかった。大学で小さな子どもを見ることはめったにない。「詩の翼」の周りは、原っぱになっていて塀も垣根もなく道路からそのまま敷地に入って来れるようになっている。原っぱで追いかけっこをする3人は風に動くモニュメントに映えていた。 **風に舞う「詩の翼」と走る子ら自由あふるる母校の庭に** (仁尾)